

文化施設(博物館等)運営状況調査  
(令和4年度実績・令和5年度計画)

目次

施設運営基本情報について

- 1 県内施設の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 入館者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 休館日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 4 令和4年度の施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について・・・・・・・・2
- 5 県の文化芸術振興施策に対する意見、他の文化施設と意見交換したい事項等・・・2

千葉県文化芸術推進基本計画の施策の柱に基づく実施状況について

- 1 【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり・・・・・・・・3
- 2 【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり・・・・・・・・・・・・5
- 3 【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり・・・・・・・・・・・・9
- 4 【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり・・・・12
- 5 【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信・・・・・・・・・・・・16

※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

施設運営基本情報について

1. 県内施設の種別

県内施設の種別

全体	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計
	1	7	4	0	17	0	2	31

(エリア別内訳)

エリア	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計	全体に対するエリア別施設数割合(%)
ベイ	1	1	3	0	8	0	1	14	45.2
東葛飾	0	1	1	0	3	0	0	5	16.1
北総	0	2	0	0	2	0	0	4	12.9
九十九里	0	1	0	0	0	0	1	2	6.5
南房総	0	1	0	0	1	0	0	2	6.5
かずさ・臨海	0	1	0	0	3	0	0	4	12.9

2. 入館者数について

総回答者数 30

令和4年度の入館者数(概算含む)

	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和4年度	1,488,192	862,552

※伝統文化とは、伝統芸能、郷土芸能、地域固有の文化。また、生活文化、国民娯楽、文化財等、歴史的又は文化的景観のうち伝統的なものを指す。  
※令和4年度と3年度で設問が変わっているため、前年度との比較はしていない。

(エリア別内訳)

全体に対するエリア別入館者総数割合(%)

エリア	入館者総数(人)	割合(%)
ベイ	824,017	55.4
東葛飾	179,746	12.1
北総	317,962	21.4
九十九里	33,386	2.2
南房総	61,059	4.1
かずさ・臨海	63,256	4.3

3 休館日について

総回答者数 31

(1)休館日について教えてください(年末年始等の休館は除く。)

全体	日	月	火	水	木	金	土
	5	27	2	0	0	0	2

(内訳)

区分	日	月	火	水	木	金	土
a.毎週	5	27	2	0	0	0	1
b.隔週	0	0	0	0	0	1	0
c.その他(月1回等)	0	0	0	0	0	2	1

(2)休館日を変更する予定の有無等について

	①変更予定(件数)	②変更の内容(抜粋)	③変更の予定時期(抜粋)
有	7	月曜日が祝日の場合、翌日休館 ゴールデンウィーク期間中、正月3が日など一時的に臨時閉館する場合がある。 夏期・冬期に一定期間の休館機関がある	5月・9月連休期間中、正月3が日など 夏期休館(7/3~9/3)、冬期休館(12/11~2/6)
無	24		

## (3)利用者から休館日について要望の有無等について

①要望の有無	(件数)	②要望の内容	③要望への対応予定
有	1	展示替え休館をなくしてほしい	該当の博物館では常設展示を設けていないため、現時点では対応予定無し
無	30		

## 4 令和4年度の施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について

総回答者数 31

## (1)新型コロナウイルスの影響による休館の有無等

①休館の有無	(件数)	②休館日数	③休館時期	
有	0	日	月から	月まで
無	31			

## (2)中止となった事業について(次年度への延期も含む)。

①事業の有無	(件数)	②中止となった事業の件数
有	11	44 件
無	20	

## (3)事業形態の変更や規模を縮小した事業について

①事業の有無	(件数)	②変更となった事業の件数
有	11	66 件
無	20	

## (4)実施時期を延期した事業について

①事業の有無	(件数)	②延期となった事業の件数
有	0	件
無	31	

## 5 県の文化芸術振興施策に対する意見や、他の文化施設と意見交換したい事項等(抜粋)

①意見等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴う改修計画の策定について知りたい</li> <li>・博物館の館種を超えた連携や地域活動支援など、博物館に求められる役割について県内他館と意見交換の場があればと思っている。</li> <li>・千葉県ならではの文化歴史に対し助成事業を行なってほしい。東京の隣というだけでなく、この場所にある他にはない魅力に対してもっと前向きに伸ばす活動に対し応援してほしい</li> </ul>

※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、  
障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	20	64.5
実施していない	11	35.5
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	9	45.0
東葛飾	2	10.0
北総	3	15.0
九十九里	2	10.0
南房総	1	5.0
かずさ・臨海	3	15.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	7	35.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	1	5.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	5.0
f. 作品の公募・展示	7	35.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	20.0

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	9	12	2	5	3	1	6	4	42

【h. その他】の概要(抜粋)

実行委員会の顔ぶれに変化がなく、数年先を見越した計画も建て辛い状況にある。  
障害の有無や年齢の別なく参加可能だが補助が必要なもの有り

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	4	1	0	1	0	2	3	13

【h. その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

## 【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、  
障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

## 「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑧令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	縄文体験フェスティバル	a.イベント(不特定多数が参加)	隣接する歴史博物館とともに、堀之内貝塚公園も活用した体験型のまつり。火おこし、貝塚見学など、縄文時代を意識した演目のほか、博物館や協力団体の体験演目が一堂に会する。	博物館友の会、里山倶楽部、市川市キャンプ協会など	2000		コロナ禍で三か年中止していたが令和5年3月26日(日)に再開した。雨天のため室内で縮小開催であったがにぎわった。課題としては、衛生管理の厳密化や協力団体の減少などにより、実行委員会形式の中止や演目の変更、事務手続きの増加などの対応に迫られた。	例年3月第四日曜日に開催しているが荒天が多い印象を受ける。今年度は同様の日程で開催するが、好天が見込める季節に開催日をずらすべきとの意見が出されている。なお、事業の多くはどなたでも利用できるため、対象を障害者に絞った事業展開はしていない。
	日本大学理工学部科学技術史料センター	日大理工のちからXIV 数学科みんながやってきた 考えること	j.その他	古の時代から人々に親しまれた数学を、江戸時代の「算額」から現代のコンピュータの活躍まで「どんなことを考えて楽しんできたか」という視点からの紹介と数学における未解決問題の紹介、また思考において役立つコンピュータの紹介など「考えること=楽しい」を軸に紹介している。	船橋市教育委員会	2022	2023	資料の展示だけでなく、親しみやすい話題をいろいろ掲載した専門誌を置いて「考える空間」や「多面体をつくらう」など体験型の展示もあり、小学生向けのワークショップなども開催し、幅広い年齢層に数学が身近に感じられるよう工夫した点が評価されている。	「測量」をテーマに実施予定。幅広い年齢層が理解できる展示内容とワークショップを考えている。広く社会に貢献できるよう広報に努め、多くの来場者を迎えられるようにしたい。
	千葉経済大学地域経済博物館	古文書相談室(全1回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	古文書の読み方についてごく初歩から学習することで、参加者に歴史資料のもつ魅力を感じてもらい、より深く知る機会としてもらう。令和4年度は、千葉県柏市の旧名家所蔵古文書をテキストにして、江戸時代の旅の様子を紹介した。		2012		アンケートの結果から、参加者にとって、古文書の読み方についてごく初歩から学習することで歴史資料のもつ魅力を感じ、より深く知る機会となったことがうかがえた。	前年度と同様に開催の予定。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	戸定アートプロジェクト	a.イベント(不特定多数が参加)	コンサートや展覧会とのコラボレーションなど、戸定邸を会場とした音楽、インスタレーションアートのイベントを実施した。		2008		新型コロナウイルス感染症感染防止の面から年3回の予定を2回に減じたが、市民を中心にコンサート開催への要望は強く、来場者からは全面的な高評価を得た。新型コロナウイルス感染症の流行状況が流動的だったため、実施決定が遅れたことで十分な事前告知ができなかった点が課題である。	コンサートは年2回の開催を予定しているが、周知方法と集客レベルの回復が課題である。
	千葉県立関宿城博物館	企画展	f.作品の公募・展示	毎年特定のテーマで展示を開催。令和4年度は「関東堀ものがたり」を開催した。	船の科学館	1995		のべ120点余の資料を展示し、期間中随時展示替えを行った。会期中多くの来館者が訪れ展示は好評であった。	令和5年度も引き続き実施予定。
北総	航空科学博物館	企画展示「世界の航空切手展」	a.イベント(不特定多数が参加)	飛行機やヘリコプターなど航空に関わる切手を集めた企画展示。日本だけではなく世界で発行された切手を多数取り扱った。		2022	2022	当館での同内容の企画展示開催は2003年以来となり、普段展示していない貴重な資料を来館者の皆様にご覧いただいた。	企画展示のため、同様の内容の次期企画展示は開催未定。
	佐倉市立美術館	安西水丸展	f.作品の公募・展示	幼少期を千葉県南端の町・千倉で過ごしたイラストレーター安西水丸が手掛けた小説、漫画、絵本、エッセイ、広告、装丁、翻訳など様々なジャンルの仕事を紹介した。出品点数約500点。		2022	2022	展覧会に対する来場者の満足度は概ね良好であるが、広報に関わる予算を確保することが難しい状況にある。市外、県外の方々に向けた情報発信の強化が必要である。	令和5年度も収蔵作品及び国内外の作品を紹介する企画展に加え、新たに図書館と連携した絵本展等を実施予定である。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	美術収蔵品展	f.作品の公募・展示	当館では、常設展示という位置づけではなく、各美術収蔵品展にテーマを設定し、内容を絞った展覧会を開催している。令和4年度は計11回の美術収蔵品展を開催。うち2つには、茂原市制施行70周年事業として開催した。		1994		各収蔵品展で、同じ作品を何度も展示しないよう、なるべく数年の間隔を空けて、展示サイクルを設定する点に、最も工夫している。入館者数は、新型コロナ以前には及ばないが、回復傾向にある。	令和5年度には美術収蔵品展8回と、4年ぶりの開催となる美術企画展を、千葉県誕生150周年記念事業として開催予定。美術収蔵品展については、今後も継続してゆく。
	城西国際大学水田美術館	「斉藤好和 イラストレーション展 41年間の足あと(1980～)」	f.作品の公募・展示	イラストレーターの斉藤好和(本学メディア学部特任教授)の初期の鉛筆画から絵本、リリウム版画、立体イラストなど、現在に至るまでの代表作を紹介。		2022	2022	あらゆる世代が来館した。デイサービスの団体見学が2件あった。	
南房総	館山市立博物館	企画展解説動画の制作・公開	j.その他	市立博物館において年4回実施した企画展の概要・見どころを担当学芸員が解説する動画(字幕入り)を制作・公開した。		2020		コロナ禍における課外授業中止や県外移動自粛をふまえて、自宅・学校で利用できる学習ツールとして実施した。字幕入りの動画は、聴覚障がい者の方からも理解しやすかったとの感想を得た。	年3回実施の企画展について、解説動画を制作・公開する予定。
かずさ・臨海	木更津市郷土博物館金のすず	第46回千葉県移動美術館	f.作品の公募・展示	千葉県移動美術館は、千葉県立美術館が所蔵する作品をより多くの県民の皆様にご鑑賞いただくために、県内市町村と協力し文化施設等を会場として開催している展覧会である。今回は、木更津市及びその周辺地域にゆかりのある作家の作品や房総地方にゆかりのある作品と併せて浅井忠やコロロ、ドビーニエ、フォタナージといった著名作家の名品など29点を展示した。	千葉県立美術館	2022	2022	9/17～10/16の26日間開催し、1日平均約39人の観覧者があった。期間中は観覧料無料としたことで、県民の皆様により観覧しやすい機会を提供することができた。	
	袖ヶ浦市郷土博物館	ミュージアム・フェスティバル	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館活動の周知、世代間交流及び地域文化の向上を目的として、平成8年度より年1回、2日間開催。博物館友の会、市民学芸員等と協働で、博物館に関する体験イベントや各種団体の活動発表を行っている。	袖ヶ浦市郷土博物館友の会、市民学芸員、NPO法人子ども一ふ袖ヶ浦、上総掘り技術伝承研究会	1996		感染症対策の観点から多くのイベントで事前予約や時間による入れ替え制としたが、ほぼ従来通りの規模で開催することができた。多くの体験イベントが親子連れで賑わい、体験の機会を提供することができた。	6月上旬に開催予定。

※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	15	48.4
実施していない	16	51.6
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	6	40.0
東葛飾	1	6.7
北総	1	6.7
九十九里	2	13.3
南房総	2	13.3
かずさ・臨海	3	20.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	2	13.3
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	6.7
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	2	13.3
f. 作品の公募・展示	8	53.3
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	13.3

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	5	7	1	3	1	1	4	0	22

【h.その他】の概要(抜粋)

--

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	4	1	0	1	2	1	4	15

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ
----------------------------

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	6	19.4
実施していない	25	80.6
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	50.0
東葛飾	0	0.0
北総	0	0.0
九十九里	1	16.7
南房総	1	16.7
かずさ・臨海	1	16.7

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	1	16.7
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	16.7
f. 作品の公募・展示	2	33.3
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	13.3

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	3	2	1	1	0	0	1	0	8

【h.その他】の概要(抜粋)

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	5	8	3	1	1	3	2	5	28

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

## 【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり

～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

## 1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑧令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	企画展「遣伝子からみた古代のイヌ」	f.作品の公募・展示	市川市須和田遺跡第6地点から11体のイヌがーが所から出土した。全国的に見ても重要な事例である。ゲノム解析や形質、古病理学的検討から、その姿を具体的に復元することが可能になったため、ウシ、ウマなどの動物、土器などの出土品などとともに研究成果を展示した。	金沢大学	2022	2022	学際領域を扱った展示に対する評価が高く、早春期にも関わらず来館者でにぎわった。	企画展は原則として3年に1度の開催であるため、来年度は実施しない。
	千葉県立中央博物館	房総のお浜降り習俗の記録映像作成事業	j.その他	房総のお浜降り習俗について、記録映像作成を行い、展示を行う。		2022	2024	令和4年度は、秋に「おはまおりー海へ向かう神々の祭」と題して展示を行い、展示関連行事として「おはまおりセミナー」を行った。記録映像の作成は進んでいない。	記録映像の作成事業を進める。
	千葉県立現代産業科学館	エントランス正月飾り 萬祝式大漁旗展示	f.作品の公募・展示	千葉県指定伝統的工芸品である銚子の染工場(額賀屋染工場・小澤染工場)から萬祝式大漁旗5点を借用し、さらに収蔵する当館オリジナル大漁旗2点を展示した。当館の広いエントランスホールの天井を利用して、天井バナーから大漁旗を吊るす方法をとった。あわせて萬祝の説明パネルと、制作工程のちらしを配付、モニターで動画の上映も実施した。		2019		展示期間17日、4,000人を超える入場者があり、県民に萬祝式大漁旗を周知することができた。大漁旗のデザインや鮮やかな色彩をまじかで見せていただくことができ、エントランスに華やぎを創出できた。また大漁旗制作の動画を上映することで、染色の伝統的な技術を動画で見ることができ、関心をもった見学者も多かった。	当館エントランスに、新年の華やぎと活気を創出するために、千葉県指定伝統的工芸品である大型の萬祝式大漁旗を展示する予定。
	千葉経済大学地域経済博物館	令和4年度特別展「房総義民伝」	a.イベント(不特定多数が参加)	本展示では、「佐倉惣五郎」や「安房三義民」といった房総を代表する「義民」を取り上げ、「義民」のイメージの形成・展開過程を展示した。		2010	2010	本展示では、展示という形を通して千葉の歴史事象を分かりやすく示すことができた。またアンケート結果からは、普段の生活では知ることのできない地域の歴史を取り上げたことで、千葉の歴史に改めて興味・関心を持ってもらうきっかけとなったことがうかがえた。	前年度同様、千葉県の地域史をテーマに特別展を開催予定。
東葛飾	千葉県立関宿城博物館	企画展	f.作品の公募・展示	「関東 塩ものがたり」を開催し、塩作りの技術の変遷や行徳塩田の興隆と舟運の果たした役割などを紹介した。		1996			企画展「地図は世につれ 人につれ」を開催予定
北総	佐倉市立美術館	文化財が紡ぐ佐倉の歴史	f.作品の公募・展示	宝金剛寺と市教育委員会主催により、佐倉市立美術館を会場に市指定文化財の修復完成を記念して文化財を所蔵する寺院の宝物を26点展示した。	宝金剛寺他	2022	2022	収蔵作品展と同時に開催したことで収蔵作品の価値を紹介することができた。	
九十九	茂原市立美術館・郷土資料館	郷土資料館テーマ展、常設展示	f.作品の公募・展示	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催により、郷土の歴史、文化に触れていただき、郷土愛の醸成に寄与する。 令和4年度のテーマ展は「近世の名士 高師村(たかしむら)宇佐美家と立木村(たちきむら)高橋家」、「車偶庵(しゃぐあん)の民俗資料その2 人形たちの歴史をたどる」		1994		展示内容が都度変更となるため、展示資料の形状等と、会場設備の制約から、陳列に工夫を凝らしている。入館者数は、新型コロナウイルス以前の水準には回復していない。	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催を継続してゆく。令和5年度のテーマ展は「(仮称)自由民権運動ー斉藤自治夫(じちふ)と板倉中(なかばー)」、「(仮)明治～昭和のくらしの道具展」を予定。
	城西国際大学水田美術館	展覧会「近代日本画コレクション 茂原の素封家と画家との交流」	f.作品の公募・展示	茂原の名士・片岡善雄が大正・昭和期に収集した日本画コレクションを、画家との交流を伝える書簡とともに紹介。		2022	2022	地域に伝わった文化財を紹介する機会となった。	
南房総	塚本美術館	刀剣展示	f.作品の公募・展示	千葉県で活動している刀匠や千葉県出身の刀匠の作品を展示					年に一度は千葉県の刀匠や千葉県出身の刀匠の作品を展示、現代刀匠への支援を継続的に続ける。
	館山市立博物館	企画展「供養する人々」	a.イベント(不特定多数が参加)	房州において行われてきた葬送や供養の儀礼・習俗について、地域に残された資料を展示する。急速に変容し、失われつつある葬送儀礼や盆行事の調査・記録を行い、房州における供養のあり方を紹介した。		2022	2022	調査研究の結果を展示したほか、図録の発行、解説会を実施した。市民が身近な行事・風習について理解を深める契機となすとともに、市外・県外の観覧者に対して当地域の文化を伝えることができた。	企画展「関東大震災と館山」ほか、3本の企画展を実施予定。
かずさ・臨海	袖ヶ浦市郷土博物館	無形民俗文化財「上総掘りの技術」体験講座	e.講演会・研修会・シンポジウム	上総地方で発案され、継承されてきた上総掘りの技術は技術伝承者の高齢化が進んでいる。袖ヶ浦市郷土博物館では、上総掘り技術伝承研究会により伝承活動が行われているが、確実に後世に技術を伝えられる状態とは言えない。そこで上総掘りの技術を後世に確実に伝えるため、技術の記録映像の撮影と併せて体験講座を実施した。	上総掘り技術伝承研究会	2021	2022	一般参加者のほか近隣の学校からも参加者があり、幅広い世代が上総掘りを体験する機会となった。連携団体の定例活動がコロナ禍で停滞しており、これを契機に再開につなげていけるかどうかが課題となる。	
	鋸山美術館(旧金谷美術館)	鋸山房州石切の歴史展示、解説動画作成	e.講演会・研修会・シンポジウム	全国の石切場を擁する地域の石切文化の紹介や地域活性化への活用について討論、講演を行う	富津市	2009	2030	鋸山が日本遺産候補地域となり関係団体や地域でも認知度が高まった	令和5年11月25日シンポジウム開催



## 2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	体験学習「組紐ストラップをつくろう」	a.イベント(不特定多数が参加)	古墳時代までさかのぼる組紐古技法「クテ打」を、一般来館者に体験していただく体験学習講座。学習意欲の向上や来館者増だけでなく、伝統文化の普及や伝承も目的とする。	クテ打組紐技法研究会(現在は解散)	2012	継続中	コロナ禍による約三年間の休止をへて再開した。参加者数はほぼそれ以前の数字に戻っている。ボランティアは年齢層が高いため、今年度前半は活動を控えていたが、徐々に活動量を増やしている。新規ボランティアの育成方針について現役から提案があった。	新規のボランティア養成講座をすでに開催している。前年度の課題を踏まえて現在4名を育成中である。体験学習も開催中である。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001	0	博物館での公開練習や事業協力、メディアへの出演、県主催公演への出演等、コロナ禍で自粛していた活動を再開し、活発な活動を行うことができ、多くの来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得た。	令和4年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	歴史セミナー	e.講演会・研修会・シンポジウム	郷土の歴史、文化に関連のある内容で、各分野に精通した講師を招き、講演会を開催。内容は、第1回「不受不施派と日蓮教団について」、第2回「近世の村と名主」、第3回「茂原市内の社寺彫刻」		0	1994	新型コロナの影響で、人との距離を保つ観点と、より多くの方々に受講頂くという条件を満たすため、より広い会場に場所を移して(中央公民会の大会議室)開催している。	令和5年度も年3回開催予定。今後も継続してゆく。
かずさ・臨海	鑑山美術館(旧金谷美術館)	鑑山資料館の設置	f.作品の公募・展示	鑑山を十番楽しくするをキャッチフレーズに山の紹介の展示を行う	房州石調査研究実行委員会	2019	2030		常設展示を行う(火曜日休館日)

※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

**【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり** ～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

**1 観光・地域産業等の様々な分野と連携した展示・事業について**

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	11	35.5
実施していない	20	64.5
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	6	54.5
東葛飾	1	9.1
北総	2	18.2
九十九里	1	9.1
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	9.1

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	5	45.5
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	4	36.4
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	9.1
f. 作品の公募・展示	1	9.1
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	0	0.0

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	5	5	1	4	1	1	3	1	21

【h.その他】の概要(抜粋)

連携団体が主催しているため、事業を主体的に計画する立場にない。

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	3	6	3	2	3	1	2	2	22

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

## 2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

## (1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	1	3.2
実施していない	30	96.8
計(B)	31	

## 【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	0	0.0
東葛飾	0	0.0
北総	0	0.0
九十九里	1	100.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	0	0.0

## 【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	1	100.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	0	0.0

## (2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	0	0	0	1	1	0	0	2	

## 【h. その他】の概要(抜粋)

--

## (2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	10	11	8	5	5	7	0	5	51

## 【h. その他】の概要(抜粋)

英語対応が難しいため コロナにより、海外から人を呼ぶ事業が自粛になったため
--

## 【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり

～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

## 1 観光・地域産業等の様々な分野と連携した展示・事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	地域連携ワークショップ	a.イベント(不特定多数が参加)	近隣商業施設や市役所、公共施設等が集まり、千葉みなと地区の活性化のために、さんばしひろばで年に数回各種イベントを実施する。その中でワークショップブースを出し、近隣住民への美術館の周知と創作の楽しさを伝える場を作っている。	千葉みなと活性化協議会	2017		コロナ前の文化の日の大漁祭りの缶バッチづくりワークショップから、12月のクリスマスマーケットのワークショップに移動し、クリスマスオーナメントづくりの行い、大盛況だった。	今年度もクリスマスマーケットの実施が決定すれば、参加する予定である。
	千葉県立現代産業科学館	展示・運営協力会、実験・工作教室・サイエンスショー「これでわかった！未来の技術 最先端テクノロジーにふれてみよう！」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	当館の展示及びこれに関わる教育普及・調査研究等の活動をより発展させるため、館の趣旨に賛同し、専門知識を有する団体及び個人が、館の行う科学技術の普及に対し、支援及び助言を行っている。館の常設展示に関する技術的指導や情報提供等を行ったほか、展示物の提供や展示のための調査・研究活動に対する支援、助言を行った。また、会員が専門とする分野に関する実験や工作を参加者型の方法で実施した。	千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会	1999		展示会は10の会員団体の出展があり、多くの来館者の見学があった。実験・工作教室は7会員8組、サイエンスショーは4会員が実施。実験・工作教室の事前申し込みは合計695名と人気が高く、抽選による実施となった。サイエンスショーは家族での参加が多く、子どもから大人まで幅広い年齢層に楽しんでいただいた。	8月5日(土)～20日(日) 展示スペースを広げるなど通常どおりの規模での開催に近づけるため、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて来館者の安全を最優先しての実施計画を策定していく。
東葛飾	流山市立博物館	流山をA・R・U・K・U	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	観光部局が主催となって、流山本町の文化財巡りを行う。	NPO法人グローバル流山	2020		文化財に対する理解が得られた。	国登録有形文化財秋元家住宅土蔵保存修復工事見学会
北総	航空科学博物館	2022 いもーれ芝山！航空科学博物館へ	a.イベント(不特定多数が参加)	航空科学博物館の所在地である芝山町が交流事業を展開している鹿兒島県奄美市との地域おこしイベント。	芝山町、奄美市、ビーチアビエーション	2022	2022	芝山町と奄美市、ビーチアビエーションの物産販売や芝山町、奄美市にある博物館の学芸員による講演など交流事業を行った。鳥唄歌手による歌唱イベントも開催し盛り上がった。	現時点では、実施予定なし。
	佐倉市立美術館	桜に染まるまち、佐倉	a.イベント(不特定多数が参加)	桜をテーマとしたイベントを開催。	京成電鉄他	2022	2023	美術館エントランスを桜色にライトアップ、市内各地の桜の写真等を展示。	令和4年度から令和5年度にかけて実施。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原七たまつり連携企画「茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードプレゼント」	a.イベント(不特定多数が参加)	茂原七たまつり期間中、当館への来館者へ、茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードをプレゼントするイベント。	茂原七たまつり実行委員会	2014		新型コロナウイルスの影響により、3年間にわたり茂原七たまつりが中止であった為、本事業も中止であった。かつては茂原七たまつりの来客を当館へ呼び込む企画として、開催を継続していた事業である。	令和5年度は、七たまつりが開催となるため、本事情も再開予定。2日間で60枚(1日あたり30人)のポストカードプレゼントを計画。今後も継続してゆく。
かずさ・臨海	鑑山美術館(旧金谷美術館)	アーティストインレジデンス	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	アーティストを10名招聘し地域で滞在しながら作品制作活動を行う	ネイチャーミュージアム金谷実行委員会	2017	2025		

## 2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
九十九里	城西国際大学水田美術館	「写真展 スウェーデンのパパたち」	f.作品の公募・展示	スウェーデン大使館企画の巡回展。長期育児休暇中の父親と子供の毎日を追った写真家ヨハン・ペーヴマンによる作品を展示。		2022	2022	男性の育児休暇取得率の高いスウェーデンの父子の写真を通して、男女平等社会について考える機会を提供できたと考える。	0

※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	17	54.8
実施していない	14	45.2
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	8	47.1
東葛飾	1	5.9
北総	3	17.6
九十九里	2	11.8
南房総	2	11.8
かずさ・臨海	1	5.9

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	3	17.6
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	3	17.6
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	4	23.5
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	4	23.5
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	1	5.9
j. その他	2	11.8

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	11	2	4	2	0	1	1	25

【h.その他】の概要(抜粋)

職員の高齢化と世代交代が課題

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	7	3	2	0	3	1	3	23

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

## 2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

## (1)展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	5	16.1
実施していない	26	83.9
計(B)	31	

## 【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	2	40.0
東葛飾	0	0.0
北総	1	20.0
九十九里	1	20.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	20.0

## 【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	20.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	4	80.0
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	0	0.0

## (2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	2	4	2	1	1	0	1	12	

## 【h.その他】の概要(抜粋)

生徒数の減少により作業労力が掛かりすぎる傾向にある。

## (2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	4	10	5	4	3	7	0	5	38

## 【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

## 【柱4】次代を担う子どもや若者がらばの文化芸術に触れる機会づくり

## ～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

## 1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑧令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	縄文出張授業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学芸員が市内の員塚で出土した資料を持参して小学校、義務教育学校、特別支援学校を訪ね、実物の観察を交えて縄文時代の概要と地域の遺跡を講義し、歴史学習の動機付けとする。		2020	継続中	のべ23校、1,904人と十分な実績である。しかしコロナ禍前は、資料に触れる、火おこし、復元土器によるアサリ汁の試作と試食などの来館型体験学習を実施していた。現在の出張型授業形式は、コロナ禍、ボランティア組織の高齢化と縮小、開催時期の変更などの課題に制約されて、教育の質的効果はやや下がっている。	令和5年度も昨年度同様実施する予定であり、すでに5校から問い合わせが入っている。
ベイ	千葉県立美術館	ケンピーおもしろ鑑賞教室	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	県内の小・中・特別支援学校・高等学校等を対象に、美術館の専門性を活かした鑑賞教室、創作体験の機会を提供する。		2007		ビルダーカード等の貸し出しを12件行った。コロナの影響で減少していた貸し出し数が、少しずつだが、増加してきた。	引き続き、県内の小・中・特別支援学校・高等学校等を対象に、より充実した鑑賞教育や創作体験の機会を提供するため、複製画と各種キットの貸し出しを行う。
ベイ	市立市川歴史博物館	夏休み体験講座(昔の洗濯体験、和綴じ本作り)	j.その他	夏休みの子供向け講座で、洗濯板を用いた昔ながらの洗濯や、江戸時代の本の作り方を学ぶ体験型の講座。		2013		主に小学生の子供たちが、昔の暮らしについて知ることのできる機会になった。	今年度も実施予定である。洗濯体験は参加者が少ないので、近隣の小学校等に周知をはかる。近隣の和綴じ本作りは、教える側の人員が不足しており、ボランティア等の人員を増やす予定である。
ベイ	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	日本の美をいまに活かした作品展	a.イベント(不特定多数が参加)	隣接する海神中学校生徒の、実物の縄文土器に触れ得られたインスタレーションから生み出された造形作品などを博物館で展示する。	海神中学校	2011		海神中学校と隣接していることから、博学連携の一環として11回実施したが、市内の他校の父兄や生徒の関心を広めていくには広報や展示作品のアピールが不足していた。	担当美術教員が異動したため、未定。
ベイ	千葉経済大学地域経済博物館	博物館実習	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	千葉経済大学学芸員課程で行われる「博物館実習」(館内実習含む)、「調査実習」の受け入れ。		2010		令和4年度は20名ほどの学生を受け入れ、実習を行った。資料の取り扱い、整理方法などを教示し、学生にとって有意義な実習を行うことができた。	前年度と同様に実施予定。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	出前講座	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学習支援専門員(元小学校教諭)を各学校へ派遣し、紙芝居やタブレット端末を活用して文化財の解説や徳川昭武の紹介を行う。		2020		学習支援専門員の元教員という実績と能力を活かし、対象年齢に合わせた解説を行った。派遣先の児童生徒、担当教員からも好評を得ており、再派遣を要望する学校が増加している。	学校への周知強化と学習素材のブラッシュアップに取り組む。徳川昭武をPRする絵本の制作を通じて低年齢層への周知を強化する。
北総	航空科学博物館	航空キッズアート展	f.作品の公募・展示	飛行機に関する自由絵画やぬりえ部門などで広く作品を公募している芸術作品展。		2022	2022	毎年、好評の事業で、令和4年度は計100点以上の作品応募があり、小学生以下の多くの子どもたちからの応募があった。優秀賞などの賞を設定しており、受賞者には賞状と記念品を贈呈した。	令和5年度も引き続き事業を実施する予定である。事業の広報活動が課題である。
北総	伊能忠敬記念館	夏休み体験教室「忠敬の地図作りにプチ・チャレ！」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み期間中に記念館を利用する児童・生徒に忠敬の地図作りについて知り、身近な道具を使いながら実際に製図作業を体験することによって、夏休みの宿題や自由研究の参考にしてもらうと同時に、伊能忠敬への興味・関心を深める機会とする。		2013		コロナ禍でも開催できるよう参加者とのやりとりを抑えた講義形式で、伊能忠敬の地図作りの「製図」部分を伝えることできた。	自由研究の題材として活用したいというニーズに応えるためには、コロナ以前に実施していたプログラムについても、現状に合わせて検討し直す必要がある。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市文化祭 小中書写展、幼稚園・保育所美術展、塾書道展	f.作品の公募・展示	茂原市文化祭の一環として、生涯学習課と連携し開催。	市内小中学校、幼稚園・保育所	1994		学校現場では、新型コロナウイルスの影響で、図工美術の部門では、作品作りの時間の確保が難しいことから、以前は開催していた「小中美術展」部門は非開催であった。来館者数は、回復の傾向にはあるが、以前よりは少ない状況。	授業の進捗状況を勘案し、各学校が参加しやすいよう、以前よりも開催時期を遅くして、令和5年11月25日～12月3日に開催予定。
九十九里	城西国際大学水田美術館	城西国際大学メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展	f.作品の公募・展示	2022年度卒業生の優秀作品展を実施。		2022		情報・映像・デザイン・サウンドを横断的に学んできた学生の4年間の学習成果を発表することができた。	2023年度卒業生の優秀作品展を予定
南房総	塚本美術館	刀剣展示	f.作品の公募・展示	千葉県で活動している刀匠や千葉県出身の刀匠の作品を展示				小学生や中学生の団体利用が多くあり、日本の伝統文化を次世代に伝えることができた。	小学生、中学生の団体を積極的に受け入れる。
南房総	館山市立博物館	なつやすみ宿題大作戦	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み期間における小学生の地域学習をサポートする講座を市図書館と共同で開催。	館山市図書館	2016		新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度は休止した講座を、感染防止策を施し、事前申込制とすることにより、実施することができた。	引き続き実施予定。
かずさ・臨海	木更津市郷土博物館金のすず	地元小学校等の校外学習受入れ	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	地元小学校からの昔のくらし体験を主とした校外学習の申出を随時受入れ、ガイドボランティア団体との連携により、小学3年生が昔のくらしを体験し郷土の文化を学ぶ機会を提供する。	地元小学校、ガイドボランティア団体	2008		地元小学校等17校の申出を随時受け入れ、ガイドボランティア団体との連携により、昔のくらし体験及び郷土の文化を学ぶ機会を提供することができた。	ガイドボランティアの高齢化や博物館職員の削減等、地元小学校等からの申出を受入れる体制の維持が難しい状況になっている。

## 2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑧令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	若年層美術作品展示	f.作品の公募・展示	こども県展や千葉県高等学校総合文化祭などの若年層の公募展や学校単位の美術作品の展示の場を提供した。	公募展主催団体もしくは学校	1974		若年層美術作品展覧会を10団体実施し、県民に成果の発表を行った。	今年度も、同じように若年層の美術作品展覧会を実施する予定である。
ベイ	千葉県立現代産業科学館	県立市川工業高等学校連携事業 インテリアデザイン部卒展	f.作品の公募・展示	市川工業高等学校インテリア科の卒展は11年目を迎えた。2日間の一般公開に加え、2月5日(日)にはサイエンスドームにて課題研究発表会を実施した。発表会ではプレゼンテーションの内容が素晴らしく、発表の仕方も工夫されていた。生徒の家族だけでなく、内定先・進学先からも関係者が参加し、質疑応答でも盛り上がりを見せた。	千葉県立市川工業高等学校	2012		卒展の展示は数・内容ともに充実し、見学者にも好評であった。一般の来館者も企画展示室へ入り、効果的なイベントであった。高校側にしてみれば、会場設営から運営、そして撤収作業まで生徒自らが行うだけでなく、サイエンスドームでプレゼンテーションを行うことで生徒たちの成長が期待される。	新たな来館者の開拓と目新しい展示が行われるということで、相互にメリットがある事業である。令和5年度も引き続き学校連携事業の一つとして開催予定である。新型コロナウイルス感染状況を鑑み、卒展および発表会を安全に実施する予定。
北総	佐倉市立美術館	美粒子展	f.作品の公募・展示	市が連携協定を締結した女子美術大学の日本画研究室による作品展を開催。	女子美術大学	2022	2022	現役美大生と卒業生の作品を展示することで、現代の日本画に対する意識に変化をもたらすきっかけとなった。貸館の利用がなかった時期に開催し、施設の稼働率を上げることができた。また、出品者の知人等が数多く訪れ、美術館を周知することができた。	女子美術大学と協議の上、令和5年度も引き続き実施を検討している。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	共催展示 市内高校合同美術展	f.作品の公募・展示	市内の公立高校3校の美術部員または、美術の授業での作品発表の場として開催。担当教員、生徒たちが、自分たちの作品の展示配置を考え、自分たちで作業を行って開催。	市内高校合同美術展事務局	1994		新型コロナの影響で、高校生による会場受付は行わなかったが、令和元年度以来3年ぶりの開催が実現でき、在校生の感激の様子がうかがえた。課題としては、まだコロナの影響で、来館者数が以前並に回復していない点である。	令和5年度は、計画どおり令和6年1月19日～1月24日に開催予定。今後も継続してゆく。
かずさ・臨海	鋸山美術館(旧金谷美術館)	アーティストインレジデンス事業	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	アーティストを10名招聘し地域で滞在しながら作品制作活動を行う	ネイチャーミュージアム金谷実行委員会	2017	2025		



※調査対象43施設(うち回答があった31施設について集計)

【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	13	41.9
実施していない	18	58.1
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	8	61.5
東葛飾	3	23.1
北総	0	0.0
九十九里	1	7.7
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	7.7

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	4	30.8
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2	15.4
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	2	15.4
f. 作品の公募・展示	4	30.8
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	1	7.7

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	8	0	1	0	0	0	2	15

【h.その他】の概要(抜粋)

連携する団体においては、会員の高齢化が進んでいる

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	10	5	4	4	3	1	1	36

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	4	12.9
実施していない	27	87.1
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	2	50.0
東葛飾	0	0.0
北総	1	25.0
九十九里	0	0.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	25.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	1	25.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	25.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	1	25.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	1	25.0

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	3	2	1	1	0	0	0	9

【h.その他】の概要(抜粋)

--

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	7	13	8	5	3	4	0	2	42

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の扱っている展示内容は、当該施策の事業にあたらぬ
----------------------------

## 【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

## 1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	第1期コレクション展「絵で見る房総の景色」	f.作品の公募・展示	風光明媚な景観と、都心に近い地の利から古くから多くの作家が訪れた房総地域の自然景観を描いた作品を中心とした絵画作品を展示する。		2022		絵画を通して千葉県の豊かな自然や文化資源に触れてもらい、千葉県の魅力を再発見してもらう機会となった。	同様の展示を予定
	千葉市立郷土博物館	令和4年度特別展「我、関東の将軍にならんー小弓公方足利義明と戦国期の千葉氏ー」	f.作品の公募・展示	永正15年(1518)、「関東の将軍」である古河公方家の風雲児足利義明が、房総の武士たちに支えられ、小弓(現在の中央区生実町)で「もう一人の関東の将軍」＝「小弓公方」として自立した。「千葉市の知られざる歴史」である小弓公方足利義明を初めて本格的に取り上げ、戦国時代の関東における千葉氏について紹介した。		2022	2022	これまでに取り上げたことのない展示テーマであったことから、関係者を始め多くの方々から関心が寄せられ、これまで知られていなかった郷土の歴史を知ってもらえる機会となったと考える。	令和5年度は別テーマで実施予定。
	浦安市郷土博物館	館外体験	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	身近な自然に触れることで浦安の環境を考える「境川乗船体験」を実施する。	浦安水辺の会・浦安三番瀬を大切にする会	2001		干潟観察会・街路樹観察会・野鳥観察会・境川乗船体験を実施し、三番瀬や市内の自然・環境について学び考える機会を提供した。	4年度に引き続き事業を実施し、浦安の自然に触れる機会を提供していく。
東葛飾	我孫子市鳥の博物館	第90回企画展「手賀沼の鳥ー環境と水鳥 いま・むかしー」	a.イベント(不特定多数が参加)	我孫子野鳥を守る会は、1977年から2020年までの44年間にわたり、ほぼ同様の手法で毎月1回の水鳥カウントを継続してきた。このカウント調査の結果をもとに、手賀沼の環境の変化に伴う鳥類の移り変わりについて紹介した。	我孫子野鳥を守る会	2022	2022	多くの入館者の方にご覧頂くことができ、入館者アンケートでも好評のコメントが多かった。	
	千葉県立関宿城博物館	パネル展「関宿周辺 歴史探検」	f.作品の公募・展示	関宿とその周辺に残る古代から近代までの史跡を写真で紹介した。		2022	2022	78日間の期間中21,587人の見学者があった。見学者アンケートでは99%が「よかった」「非常に良かった」と回答するほど好評であった。	同様のパネル展「すごろくde城下を歩こう」を実施予定。
かずさ・臨海	鑑山美術館(旧金谷美術館)	鑑山房州石の歴史の展示	e.講演会・研修会・シンポジウム		金谷ストーンコミュニティ	2009	0	日本遺産候補地域となり鑑山には国内のみならず海外からも多くに観光客が訪れている。石切場の魅力や1300年の古刹日本寺の魅力を伝える活動が来訪者の増加に寄与している	継続して展示を行う

## 2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

## (4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和4年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和5年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曾利貝塚博物館	VR技術を用いた新たな史跡・博物館体験	a.イベント(不特定多数が参加)	VR技術(スマートグラス)を用いて、史跡公園(屋外)や博物館(屋内)の見学者の学び体験をより向上させるためのコンテンツを作成し、博物館の集客イベント等で実証実験を実施している。	DNP日本印刷株式会社	2020		新たな技術に対応した展示解説コンテンツを製作するための職員とノウハウが不足している。	
	千葉県立美術館	ハイ！テーズ！ポーズを決めて彫刻を作ろう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	筑波大学と連携し、彫刻制作のモデリングの技法で針金の心棒を使用して、人または動物の彫刻を作る。出来上がった作品は持ち帰るには大きいので、3Dプリンタ用のアプリで360度写真撮影し、10センチほどの高さの立体物を後日プリントし、参加者に手渡しする。	大学	2022	2022	彫刻制作に使用する粘土は耐用が数か月と短く、作品自体も大きいことから、最新の3Dプリンタで3分の1ほどの大きさのミニチュアに仕上げた。また3Dプリンタ用360度写真撮影から制作された3Dデータもそれぞれに手渡しを行った。	3Dプリンタ機器は、大学が所有していたため、今回の体験が実施できた。今年度はICTを活用したワークショップを実施予定であり、できる限り、最新のテクノロジー活用を行う予定である。
かずさ・臨海	鑑山美術館(旧金谷美術館)	VRを使った鑑山の映像の視聴	f.作品の公募・展示		富洋観光開発株式会社	2022		かなりの反響がある。累計視聴者数は1万人を超え、鑑山の魅力を多くの方に伝えられた。また身体的に登山は難しい方にも鑑山の映像を見て山の魅力を楽しんでいただけた	